

2016年12月5日
メットライフ生命保険株式会社
MSD株式会社

メットライフ生命とMSD、がん患者向け支援で戦略的パートナーシップに合意

メットライフ生命保険株式会社(本社:東京都墨田区、代表執行役 会長 社長 サシン・N・シャー)とMSD株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:ヤニー・ウェストハイゼン)は、このたび、がん患者さん向け支援プログラムを協同で開発、提供することに合意しました。最初の取り組みとして、12月5日からがん患者さん向け総合ガイド「FIRST GUIDE」を提供します。

「FIRST GUIDE」は、約800名のがん患者さんの声をもとに作成した、がんに初めて向き合う患者さんたちのためのガイドブックです。両社が実施した調査によると、がん患者さんは、がんの疑いがあると指摘されたときや治療を始めるとき、治療の流れや生活面での不安が大きく、治療に関する信頼できる情報を得ることが難しいと感じていることなどが明らかになりました。こうしたがん患者さんの不安や課題を解消するために、がん治療経験者の実体験、医師、ソーシャルワーカー、ファイナンシャルプランナーによる情報をまとめた「FIRST GUIDE」を冊子およびウェブサイトで提供します。

ウェブサイトへのリンク: <http://www.metlife.co.jp/customer/support/cancer/>

今回の提携についてメットライフ生命 代表執行役 会長 社長 サシン・N・シャーは次のように述べています。「世界は変化し続けており、お客さまがよりよい選択をするためのお手伝いをするために、私たちはお客さまが抱える問題に対しソリューションをご提案し、さらに保険商品以上のものをご提供していく必要があると考えています。私たちは日本で最もお客さま中心主義を徹底した生命保険会社となることを目指しており、ヘルスケア企業のMSDと共に、がん治療を受けるお客さまへのサポートをご提供できることを誇りに思っています」

MSDの代表取締役社長ヤニー・ウェストハイゼンは次のように述べています。「MSDは、がん領域を重点分野の一つに位置付けており、医薬品の開発・提供にとどまらず適切な情報提供やサービスを提供することで、がん患者さんや医療従事者の方々に貢献していきます。今回の連携は、当社のこうした取り組みの一環であり、がん患者さん向け支援プログラムを通じてがん治療におけるニーズに応えていきます」

メットライフ生命とMSDは、この提携により、がん患者さんが前向きに治療や生活と向き合えるよう支援していきます。

以上

メットライフ生命について

メットライフ生命は、日本初の外資系生命保険会社として1973年に営業を開始し、多様な販売チャネルを通して、個人・法人のお客さまに革新的かつ幅広いリスクに対応できる商品を提供してまいりました。現在は日本法人「メットライフ生命保険株式会社」として、お客さまに常に寄り添い、お客さま自らが自信を持って最適な保障を選ぶお手伝いをし続けることに努めています。

MSDについて

MSDは125年にわたりグローバルヘルスケアリーダーとして、すこやかな世界の実現を目指し努力してまいりました。MSDはMerck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.が各国(米国とカナダ以外)で事業を行う際に使用している名称です。医療用医薬品、ワクチン、バイオ医薬品およびアニマルヘルス製品の提供を通じてお客様と協力し、世界140カ国以上で事業を展開して革新的なヘルスケア・ソリューションを提供しています。また、さまざまなプログラムやパートナーシップを通じて、医療へのアクセスを推進する活動に積極的に取り組んでいます。MSDの詳細については、www.msd.co.jpや当社[Facebook](#)、[YouTube](#)をご参照ください。